

中国近代の巨人とその著作

曾国藩

士の「家計簿」——曾国藩の著作より
京都大学人文科学研究所 准教授 村上 衛

蒋介石

蒋介石と『中国の命運』
京都大学人文科学研究所 助教 森川裕貫

毛沢東

毛沢東——書家として、詩人として
京都大学人文科学研究所 教授 石川禎浩



古いけれども古びない、
歴史があるから新しい。

2018/3/12 月 10:30
16:00

聴講無料
要申込み

会場 | 学術総合センター内 一橋大学一橋講堂中会議場
(千代田区一ツ橋2-1-2)

聴講ご希望の方は、「漢籍セミナー申込み」と明記し、氏名・連絡先（住所・電話番号・E-mail
アドレス）をご記入の上、左記宛先までハガキもしくはE-mail または FAX でお申込みください。
【3月2日(金)17:00必着】。折り返しハガキにて参加の可否についてのご連絡をさしあげます。

京都大学人文科学研究所附属東アジア人情報学研究中心 〒606-8265京都市左京区北白川東小倉町47
電話 ▶ 075-753-6997 FAX ▶ 075-753-6999 E-mail ▶ kanseki-tokyo@zinbun.kyoto-u.ac.jp

中国近代の巨人とその著作

——曾国藩、蒋介石、毛沢東

●今回の概要

広い版図と多くの人口、そして多様な社会や民族を治めるため、古来中国の政治指導者には、複雑な課題に対処するマルチな能力が求められてきました。清朝、民国、人民共和国の三つの時代、激動の中であって中国を大きく動かした三人の政治家——曾国藩、蒋介石、毛沢東——はそれぞれ湘軍、国民革命軍、人民解放軍を率い、時代を切り開いた近代史上の巨人ですが、彼らも軍事指揮にとどまらない多くの能力を求められていました。

今回のセミナーでは、人文科学研究所の現代中国研究センターに所属する三人の専門家が、曾国藩、蒋介石、毛沢東の著作をひもとき、かれらの素顔に迫ります。それぞれの著作・作品に込められた思いや社会からの反響、さらには著作を通してかいま見えてくる彼らの経済生活に至るまで、中国近代史の巨人たちの意外な才能や人となりをわかりやすく解説します。単なる政治家の枠では収まりきれないかれらの多面性を理解することは、現在の中国を多面的・重層的に見ることにもつながるはずです。

●参加定員 / 200名(申込み順)

*定員を超えた場合はお知らせします。

●申込み期限 / 3月2日(金) 17:00 必着

*申込みの詳細は表面をご覧ください。

●プログラム

10:30~10:45	◎開会挨拶	司会 矢木毅 (人文科学研究所教授)
10:45~12:00	◎講演 士の「家計簿」——曾国藩の著作より	東アジア人情報学研究センター長 岡村秀典 京都大学人文科学研究所 准教授 村上 衛
12:00~13:10	◎休憩	
13:10~14:25	◎講演 蒋介石と『中国の命運』	京都大学人文科学研究所 助教 森川裕貫
14:25~14:40	◎休憩	
14:40~15:55	◎講演 毛沢東——書家として、詩人として	京都大学人文科学研究所 教授 石川禎浩
15:55~16:00	◎閉会挨拶	

*講演時には質疑応答時間を含みます

●会場 / 学術総合センター内 一橋大学一橋講堂中会議場 (千代田区一ツ橋2-1-2)



■会場への交通機関

- ・東京メトロ半蔵門線
都営地下鉄三田線・新宿線
「神保町駅」A8出口より徒歩5分
- ・東京メトロ東西線「竹橋駅」
1b出口より徒歩5分

- 都営新宿線
- 都営三田線
- 東京メトロ半蔵門線
- 東京メトロ東西線
- ==== 高速道路